



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF

TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ

〒 662-0977 西宮市神楽町

5-23

西宮 YMCA 内

Tel (0798)35-5987



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ

2024年1月会報

第421号

主題・標語

国際会長(IP)

Urlik Lauridaen (Denmark)

主題 "Let Your Light Shine" 「輝かそう、あなたの光」

スローガン "Good Communication Is the Cornerstone in Every Cooperation"

「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」

アジア太平洋地域会長(AP)

Keiko Tonegawa (Japan)

主題 "Be the light for change 「変革のための光となろう」

スローガン "Shine and empower through fellowship 「親睦を通じて輝き、力を得よう」

西日本区理事(RD)

深谷 聡 (名古屋クラブ)

主題 「未来に灯そう(ともそう)きぼうの光」

副題 「互いに認め合う 世界の友」

六甲部長

井出 浩 (神戸クラブ)

主題 「YMCAとのさらなる協働を目指して」

宝塚クラブ会長

石田由美子

主題 「楽しくなければワイズじゃない！」 No enjoyment ,no Y's life

今月のテーマ : EF

国際協会の一員として、EF の理解を深めましょう。記念日、記念すべき出来事、またはクラブの周年行事などにあわせて、積極的に献金しましょう。

国際・交流事業主任 小田 哲也(福岡中央クラブ)

2024年1月新年オープン例会(ハイブリッド無)

日時 : 2024年1月20日(土)14:00

場所 : 宝塚西公民館

第一部

歓迎挨拶 石田由美子会長n

歓迎演奏 ポップンリンガーズ

(休憩)

講演・模擬体験、質疑応答

～誰にも優しい豊かな社会を願って～

特定非営利活動法人クルーズ

理事長 川崎 孝子さん

キラリ輝く作品展

第二部 1月例会

ドライバー 長尾 亘 小林康男

開会点鐘 石田由美子会長

ワイズソング 全員

聖書朗読・祈祷 若林成幸

ゲスト・ビジター紹介 会長

「メンバー30秒スピーチ」

各委員会報告・YMCA報告・ニコニコファンド

誕生日のお祝い 会長

閉会点鐘 石田由美子会長

2023~2024 役員	会長 石田由美子
	副会長 武田寿子
1月 誕生日	書記 福田宏子
	会計 小林康男、郡家学
	会計監査 加藤光信、若林成幸
	担当主事 橋本唯
	メネット連絡 小林貴美子
	直前会長 小林康男
	武田 建(19)武田寿子(25)水谷恭子(1) 風早 舞(26)
12月 実績	例会出席者数 24名(ズーム0名) 在籍会員数 19名 出席会員数 13名(ズーム0名) 出席率 68% メイクアップ(内数) 0名 メネット・コメント・孫メット 2名(ズーム0名) ゲスト・ビジター 6名(ズーム0名) 例会充足率 126% アソシエイト会員 3名(ズーム0名)
	ここにこBOX 円 累計 25,400円 ファンド(たかラムネ)2,200円 累計 23,515円 (真菰茶) 0円 累計 24,125円 (豚肉) 0円 累計 5,000円 ファンド合計 78,040円

## 聖 句

さて、ヘロデは占星術の学者たちにだまされたと知って、大いに怒った。  
そして、人を送り、学者たちに確かめておいた時期に基づいて、ベツレヘムと  
その周辺一帯にいた二歳以下の男の子を、一人残らず殺させた。

(マタイ 2:16)

## 随 想

東の国の占星術の学者たちが幼子イエスを探し当て礼拝した日は、西方教会では  
1月6日（公現日）とされています。聖句はそれに続いて起こった出来事です。  
ヘロデ王は、学者たちの「ユダヤ人の王としてお生まれになった方」という言葉に  
敏感に反応し、将来自分の地位を脅かすかも知れないと考え、その可能性のある  
2歳以下の子どもたちを一人残らず殺させた、という話です。

この出来事がもし事実だとすると、当時の推定人口から計算して、およそ 20 人～30 人の  
子どもが虐殺されたことになるそうです。

昨年に続いて、このたびのクリスマスもまた、戦火の知らせが飛び交う中での  
クリスマスでした。ウクライナだけでなくパレスチナでも戦争が始まってしまい、  
連日報じられるのは、増え続ける犠牲者の数です。パレスチナでも民間人の犠牲が増え  
続け、その内の子どもだけでも既に 5,000 人を越えているといえます。支配者たちの  
都合で始まった戦争と暴力の犠牲になるのは、結局いつも子どもたちや女性たち、  
弱い立場に置かれた人々……。2,000 年前も現代も、まったく変わらない現実、しかも  
犠牲者の数は桁違いに増え続けています。

国際政治の世界では、ウクライナ支持とかイスラエル支持とか、国や政府に分れた  
主張がなされますが、わたしたちが本当に連帯するべきは誰なのか、は明らかでしょう。  
連帯すべきはどちらの国でも政府でもない。どちらの側にも必ずいる犠牲にされる  
立場の人々、子どもたちに代表されるもっとも弱い立場の人々です。わたしたちの  
日本でもこれからは、そういう連帯を表明する場をもっともつべきではないかと思ひ  
ます。

アメリカの大学生たちは、攻撃をやめないイスラエルを支持する政府に反対し、  
パレスチナの犠牲者に連帯を表明するデモを繰り返しているそうです。世界各地で  
同様のデモが起こる中、先日の国連安保理ではアメリカもイスラエル支持のための  
拒否権発動を諦め、人道支援拡大が決議されたという報道がありました。世界中で  
高まる非難の声を、アメリカ政府も無視できないのでしょうか。

平和を求める連帯表明の大切さを、改めて思わされています。

金田俊郎

## 2024 新年のご挨拶

宝塚ワイズメンズクラブメンバー、メネット、アソシエイトのみなさま、  
明けましておめでとうございます。



2023 年の大きな事業であった創立 35 周年記念事業、恒例の第 19 回市民クリスマスが無事に終え気持ちよく新しい年を迎えた筈が元日早々の能登半島大地震、翌日の羽田空港滑走路上の飛行機衝突事故、と大惨事続きで複雑な気持ちのお正月になりました。

明日を迎えられる、と言う当たり前の事はむしろ奇跡なのだと思うを得ません。大切なチャーターメンバーであった吉田明ワイズを天に送りましたが、新しいメンバー 2 人を与えられ、宝塚クラブらしい活動を今年も続けて行きたいと思えます。

「楽しくなければワイズじゃない」、人の繋がり、交流が大きなパワーを得て楽しさに繋がって行きます。ワイズメンズ活動の原点であり「お得な」ポイントです。

会長任期残り半年ですがよろしくお願ひします。

会長 石田由美子

## 12月クリスマス例会告

今年も 12 月例会は会場を日本基督教団宝塚教会が提供してくださって午後 6 時から 3 部に分けて開催された。

参加者はゲストを含め 27 人。

**第一部**は石田由美子会長の開会点鐘後礼拝。クリスマスメッセージは「平和の君」と題して宝塚教会の浦上結慈牧師、奏楽も宝塚教会のオルガン奏者、船木仁美さん、司会は多胡葉子メン。そして現在戦禍の中にある人々を覚えて全員で平和の祈りを唱え、献金がなされた。その後、過日 12 月 4 日に天に召された我がクラブのチャーターメンバーで重鎮だった吉田明さんを偲んで黙禱をし、彼の愛唱歌だった讚美歌を歌い天上での吉田明さんの平安を祈った。

**第二部**はハンマーダルシマのコンサート。奏者はハンマーダルシマの第一奏者として国内外で



活躍の稲岡大介さん。反戦の曲のダニーボーイの調べから次々と礼拝堂に素晴らしい弦の響きがとどろき聴き入りました。元会員だった故澤田さんのご縁で 7 年ほど前になるのでしょうか。宝塚ホテルで例会を開催していた時にも演奏をしていただいたことを思い出します。

**第三部**は会場を一階のホールに移し、アソシエイトの石原美生子さんによる会場で、クリスマスのディスプレイで飾られた中で祝会となった。

司会は突然に体調不良で出席が叶わなくなった小林康男メンにかわり、若林成幸メンが担当。食前の感謝ののちにワインで乾杯をし、アン・パスからのイタリアンのケータリングの美味しいお食事に舌鼓。そして何人かのゲストから一言メッセージを頂き、宝塚オリジナルの石田由美子メンによるフラ。長尾亘、郡家学、若林成幸の3人によるウクレレの演奏のもと華麗にフラによる聖夜が由美さんの指導のもと披露され楽しい祝会が一層盛り上がった。あっという間の時を全員で楽しんだ祝会のひと時でした。



多胡 葉子

## 12月第2例会報告

日 時:2023 年 12 月 20 日(水)14:00~17:00

会 場:宝塚西公民館会議室

出席者:若林メン、メネット、多胡、小林、福家、武田、石田、福田 H

### 1. 第 2 回六甲部 ZOOM 役員会報告 12/18(月)18:30 より実施済み

- ① 牧野万里子国際・交流事業主任急逝による後任は小田哲也直前主任
  - ② 11/23(木)チャリティ・ラン報告 延べ 284 名参加:宝塚クラブは「シルバー功労者」獲得
  - ③ 12/10(日)YMCA 国際協力街頭募金実施 留学生を含み 32 名参加
  - ④ 2024 年 1/20(土) 10:00~12:30, YMCA で神戸 YYY フォーラム開催予定
  - ⑤ 国際会長選挙 Web 投票 USA エリアのチャールス・レイモンドに投票済
  - ⑥ 第2回評議会開催について:24 年 2/03 14:00pm 対面開催予定 2 つの継続審議
  - ⑦ 2024 年 1 月第 2 例会を 1/10(水)に変更し、1/20(土)にオープン例会を行う
- 第二例会はオープン例会の準備と新年会を予定:オープン例会にてクッキー販売予定  
疑似体験学習会&キラリとひかる作品展を同時開催予定  
チラシ配布・PR 活動:井上みえさん、希望の家等にお知恵拝借、応援依頼

### 2. ブリテン:他クラブ訪問等

3.

### 4. 12/22(金) 第 19 回 市民クリスマス、最終準備会

書記 福田宏子

## クリスマスキャロル

### 第 19 回市民クリスマスを振り返って

2023 年 12 月 22 日(金)、第 19 回市民クリスマス「みんなでつくる One Christmas」を好評のうちに終えることが出来ました。幼稚園児・そのお母さんたち・ポップンリンガーズ・マハロ及び石田由美子姉妹のフラ、朗読者、独唱者そして市民クリスマス合唱団 30 名 合計 125 名の出演で One Christmas が完成したことを喜び、感謝にたえません。

今プログラムの構成は従来と大きく変わるところはありませんが、お客様の一本筋を通した構成が素晴らしかった、という声にも現れているように、全ての出し物に統一感がありました。冒頭、司会者は「2023 年、私たちが生きている世界は大きく揺れ動きました。深刻化する気候変動、終りの見えない戦争、人権侵害や不正など、多くの課題をかかえた社会の中で「困難にある人々のために祈り、活動を続けましょう。今日のコンサートは、困難にある人のことを覚え、援助の手を差し伸べる機会とし、平和な日常が一日もはやく回復されることを祈りましょう」とアピールしました。これはご来場の皆さまが共有できた言葉でした。

また、ある牧師のメッセージを引用して「聖書が伝えるクリスマスは、若い女性が望まない妊娠を宣告されることから始まり、身重になった彼女は国の政治の都合で過酷な長旅を強いられました。旅先で出産を迎えても安全な環境が提供されない状態でした。このように命の危険にさらされている女性と子どもが、聖書のクリスマス物語の主役なのです。それは楽しく陽気に受け取られるものではありません。生きることの困難に立たされた人々の物語であるのです。けれどもその命の危機に瀕している子どもこそが救い主であり、私たちの希望になる」と語りかけました。

そして舞台が進むと、マリアの受胎告知の場面で NHK 朝ドラの挿入歌「いのちの歌」の合唱が、博士が星を頼りに旅する場面で谷村新司の代表曲「昴」が田中良和さんのテナー独唱(ピアノ:北野友梨さん)が歌われました。田中氏はマイクを通じて「『さらば昴よ』の歌詞で締められたこの曲は、目指すものに対して別れを告げる怖れ、強さ、視野の豊かさが込められている。悩み苦しみながら歩むうちに自分の中に見つけた確信を大切にしていこう。その中で出会う人々を大切にしよう。」と語られ、聴くものにとっても強いメッセージが伝わりました。また、朗読の加悦里子さんも声の調子を変えた豊かな表現から心に秘めた力強さを感じることができました。合唱団の O Holy Night も素敵な出来映えでした。

本番直前、控室でお弁当を食べているとき、ポップンの男性メンバー親子らと会話がはずみました。ポップンの出演は 15 年も続き、この間に最年長の男性は 35 才に、最年少でも 25 才になったと。このプログラムを始めて 19 年、主催する私たちも年を重ねたもんだとつくづく思いました。来年の 20 回目は、ダカーポの創立 20 周年にあたるという。周年事業として何か意義づけることが出来るだろうか？

最後に、皆さまからお預かりした募金(総額 117,263 円)は YMCA が行うウクライナとパレスチナ難民支援活動のために神戸 YMCA を通じて寄付させていただきます。

若林成幸

出演者



「宝塚厚生幼稚園」



「ポップン・リンガーズ」



関学フラ「マハロ」



アンサンブル「ダカーポ」・キャロル合唱団



宝塚ワイズメンクラブ

他クラブ訪問

六甲部 神戸クラブ



クリスマス例会が神戸レガッタ&アスレチッククラブで開催しました。宝塚クラブから石田会長と青柳ワイズが参加しました。ケータリングのディナー、飲み物を楽しみながら、お琴ちゃんによる、和洋問わない色々な琴の演奏に一同聞き惚れてしまう楽しい例会だったと聞きました。

代筆 長尾 亘

### 中西部 大阪センテニアルクラブ

2023年12月14日 大阪クラブ、茨木クラブ、西クラブ、大阪センテニアル の4クラブ合同クリスマス例会に参加してきました。毎年石田会長が指導している西日本区六甲部のフラチームが出演しています。しかし、皆さん忙しく2023年は私一人参加しました。本来フラチームのカメラマンでしたが、ウクレレが少し弾けるだけで、今は大阪センテニアルクラブの「ハネリマカヒキウクレレクラブ」の正式メンバーに成っていました。フラチームが出ないのに一人で参加するのは寂しいです。しかし、沢山ワイズが集まり楽しいクリスマス例会でした。



長尾 亘



### YMCA ニュース

あけましておめでとうございます。旧年中は、YMCA の諸活動にご理解ご協力を賜りまして感謝いたします。宝塚ワイズメンズクラブの様々な事業にも関わらせていただき、地域社会のために私たちは何ができるのか、地域の方々とともにどのように歩むのかを考えさせられた1年でした。新しい年もまた、YMCA に連なる方々と共に歩みを進めていただければ幸いです。

連絡主事 橋本 唯

### 編集後記

新年元旦、能登半島で大きな地震がおこり、阪神大震災を思い出す事に成りました。元旦のお節料理を食べて二日目に「箱根駅伝」を見ながらブリテンの校正をしました。本年も原稿よろしくお願い致します。

クリスマスキャロルの写真を撮る余裕が無くて出演者全員の写真が無かったのが残念です。写真で表現できない所は字を濃くしたり、アンダーラインを引いています。

ブリテン担当 長尾 亘

《後期2024年1月～6月、会費納入のお願い》

口座名 三菱 UFJ 銀行 宝塚中山支店

口座番号 4585836

口座名 宝塚ワイズメンズクラブ

2024年1月末までによろしく願いいたします。

会 計 小林康男